

旺文社『にほんご WEB テスト』 結果発表 ～ 語彙力を試すテストに2,298人がチャレンジ ～ 「単独」の対義語は「大勢」？ 「共同」？

教育出版の株式会社旺文社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 赤尾 文夫、以下旺文社)は、語彙力向上を支援するWEBサイト『にほんご WEB テスト』を、「語彙の日」に合わせ本年5月1日にオープンしました。7月末までに受検した2,298人の方の受検結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

<『にほんご WEB テスト』とは>

『にほんご WEB テスト』は、国語力が低下していると言われる子どもたちの語彙力向上のサポートを目的として旺文社が開設したWEBサイトです。旺文社 生涯学習検定センターが運営・実施する『実用日本語 語彙力検定』の問題から出題され、楽しくゲーム感覚でテストが受けられます。

難易度別に3コースあり、難易度の高いコースに挑戦していくことで、自然と語彙力がつきます。どのコースも毎回違う問題が出題されるので、何度でもチャレンジすることができます。

(コース名)

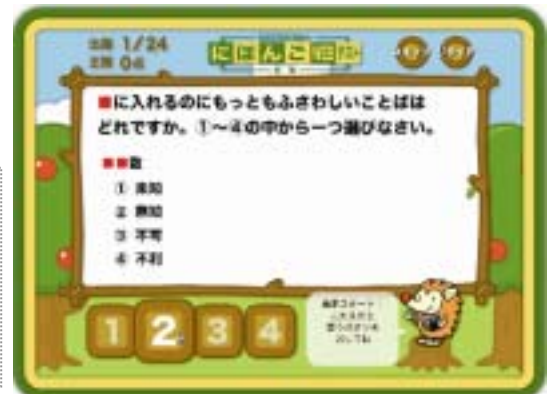
- ・「にほんご山コース」 語彙力検定 6・7 級問題(小学生向け)
- ・「ふじ山コース」 語彙力検定 4・5 級問題(中学生向け)
- ・「エベレストコース」 語彙力検定 3 級問題(高校生向け)

「語彙の日」(5月1日)とは

語彙の日は、旺文社 生涯学習検定センターが実施する生涯学習三検定のひとつである『実用日本語 語彙力検定』に因んだものです。語彙力が低下していると言われる子どもたちに、その大切さを認識してもらえる日になればという思いを込め、5月1日を『語(ご)(5) 彙(い)(1)』の日とし、昨年、日本記念日協会から正式に認定されました。



<スタート画面>



<試験問題画面>

<3ヶ月間の受検状況>

オープンから7月末までの3ヶ月間に、延べ2,298人が受検しました。

にほんご山コース・ふじ山コースは10代までの方が半数以上を、難易度の高いエベレストコースでは20～30代の方が約半数を占めています。

	全体		にほんご山		ふじ山		エベレスト	
10代未満	233人	(10.1%)	105人	(15.4%)	33人	(6.2%)	95人	(8.8%)
10代	926人	(40.3%)	355人	(52.0%)	321人	(60.2%)	250人	(23.1%)
20代	434人	(18.9%)	77人	(11.3%)	56人	(10.5%)	301人	(27.8%)
30代	329人	(14.3%)	72人	(10.5%)	47人	(8.8%)	210人	(19.4%)
40代	258人	(11.2%)	53人	(7.8%)	54人	(10.1%)	151人	(14.0%)
50代	71人	(3.1%)	8人	(1.2%)	14人	(2.6%)	49人	(4.5%)
60代以上	47人	(2.0%)	13人	(1.9%)	8人	(1.5%)	26人	(2.4%)
男性	1,022人	(44.5%)	273人	(40.0%)	187人	(35.1%)	562人	(51.9%)
女性	1,276人	(55.5%)	410人	(60.0%)	346人	(64.9%)	520人	(48.1%)

男女比では、にほんご山コース・ふじ山コースは女性の受検者が多く、男性の2倍弱だったのに対し、エベレストコースでは男性の受検者が多い結果となりました。

< 正答率が低かった語彙 >

「単独」(正答率 にほんご山コース 34.3% ふじ山コース 39.6%)

「単独」という語彙についてはにほんご山コース・ふじ山コースともに出題されていますが、いずれも正答率は3~4割でした。

問題: 次のことばの対義語はどれですか。(ふじ山コース)

(対義語は「長い/短い」のような反対語のほか、「男子/女子」のように二つで一組になる語もふくむ)

「単独」※カッコ内はその選択肢を選んだ人の割合

- ① 複雑(6.3%) ② 散在(2.1%) ③ 共同(39.6%) ④ 大勢(50.0%)

解説 「単独」は「ただ一つ・ただ一人であること」という意味。その対義語は「二人以上の人が共通の目的のために力をあわせること」という意味の「共同」となります。

半数の人が答えた 「大勢」は「多くの人・多人数」という意味で、その対義語は「小勢」です。

「息をのむ」(正答率 33.6%)

問題: 次の語句の使い方としてもっともふさわしいものはどれですか。①~④の中から一つ選びなさい。(にほんご山コース)

「息をのむ」

- ① 先月大流行したインフルエンザも、今はもうすっかり息をのんだ。(2.8%)
② 自転車で乗っていたら、突然タイヤがパンクして思わず息をのんだ。(33.6%)
③ ウミガメを驚かさないうに、息をのんで産卵を見守った。(50.5%)
④ 頂上までしばらくあるから、ここで息をのんで休憩しましょう。(1.9%)

解説 「息をのむ」は「はっと驚く」という意味。半数以上の人答えた は、「息を殺す...呼吸をおさえてじっと静かにする」や「息をつめる...緊張して息をとめる」などのほうが適切です。

「持ち前」(正答率 38.7%)

問題: 次の意味にもっともよく当てはまることばはどれですか。(にほんご山コース)

「生まれつき身につけている性質」

- ① 出来心(6.5%) ② 持ち前(38.7%) ③ お節介(12.9%) ④ 自然体(41.9%)

解説 選択率が高かった 「自然体」は、「先入観や気負いのない素直な態度」という意味を持つ語で、「生まれつきの」という意味はありません。

「切実」(正答率 33.3%)

問題: 次の意味を表す語句として、もっとも適当なものを一つ選びなさい。(ふじ山コース)

「避けられないこととして、まともに自分の身に影響を及ぼすようす」

- ① 接着(5.6%) ② 迫真(47.2%) ③ 圧倒(5.6%) ④ 切実(33.3%)

解説 選択率が高かった 「迫真」は、「表現や表情などが真に迫っていること。本当のように見えること」という意味を持つ語で、「迫真の演技」のように使います。「自分の身に直接影響するのを身にしみて心に強く感じるようす」という意味はありません。

「白眉」(正答率 29.5%)

問題: 次の意味を表す語句として、もっとも適当なものを一つ選びなさい。(エベレストコース)

「多くの中で一番優れたもの」

- ① 至極(49.5%) ② 番外(0.0%) ③ 骨頂(18.1%) ④ 白眉(29.5%)

解説 約半数の人が答えた 「至極」は、名詞として「この上もないこと・最上」という意味、副詞として「このうえなく・まったく」という意味を持つ語です。

結果について、語彙力検定 検定委員の宮腰賢先生(東京学芸大学名誉教授)にコメントをいただきました。

実際の用法を短文で確かめる

東京学芸大学名誉教授 宮腰 賢

旺文社の「にほんご WEB テスト」は、ゲームを楽しむ感覚で取り組むことのできるものですが、意外に満点を取ることは難しいようです。8月下旬に三つのコースに挑戦してみた私の成績は、どのコースでも1問の誤りがあって、24 問中 23 問の正解でした。にほんご山コースでは、「 価格」の「 」に当てはまる語を選ぶ問題で間違えました。意味を考えると、組み合わせてもいえるものを選んだのですが、実はそうは言えないのでした。私の考えた語は「値」とは組み合わせられますが、「価格」とは組み合わせられないのです。実際に用いる日本語のおもしろさ、難しさなのだと思います。

7月 31 日までの結果のまとめを見て、興味が引かれたのは、エベレストコースで正答率の低かった「白眉」の問題です。「眉」は常用漢字表に収められていない漢字です。「眉目秀丽」という語や「柳眉を逆立てる」という語で「眉」が「まゆ」の意味であることがわかって、「白眉」は「しろいまゆ」という意味で用いられるわけはありません。中国の三国時代、蜀の馬氏の五人兄弟のうち眉に白毛のあった馬良が最も優れていたという故事があって、「この作品が今回の展覧会の白眉です」など、「多くのものの中で最も優れたもの」の意味で用いられます。出題形式は「多くの中で一番優れたもの」の意味を表す語を選び出すというものでした。「白眉」が正解ですが、意外にも「至極」と答えた人が 49.5% なのです。確かに「至極」は「この上ない」の意味ですが、「至極平穏な日々を過ごしております」などと用いる副詞です。語と意味を結び付けるだけでなく、実際の用法を短文で確かめることが大切なのでしょう。

< 今後の展望 >

旺文社では、小・中・高校生が日本語を的確に理解するために必要な「語彙力」を測定し、客観的に評価する『実用日本語 語彙力検定』を 2000 年度より年に 2 回実施しています。

旺文社は、人間の知的活動とコミュニケーションにおける「ことば」の重要性がますます高まる現代において、人々の“語彙”への認識をさらに高めるよう、これからも取り組んでまいります。

次回「語彙力検定」実施期間:11月23日～12月8日 / 申込締切:11月4日

『実用日本語 語彙力検定』とは

旺文社 生涯学習検定センター(1999 年 9 月に検定試験の実施を目的に設立)は、実用的な日本語の語彙力を総合的に測定する『実用日本語 語彙力検定』、算数・数学の計算力を測定する『計算力検定』、英語の基礎的な単語の知識を測定する『英単語検定』の『生涯学習三検定』を開発、2000 年 7 月から毎年 2 回実施しています。これらの検定試験は、基礎学力を客観的に測定・評価できる信頼性の高い検定試験として、中学校と学習塾を中心に普及し、開始後 8 年間で累計の申込者数が 34 万人を超えました。(2008 年 7 月実施現在)『実用日本語 語彙力検定』は、全て四肢択一のマークシート方式で、2 級から 7 級までの 6 レベルを設定しており、小学高学年から高校生や大学生まで幅広く受検していただけます。

* 実際の検定試験問題の一部や正答率、受検者数などの検定結果データは、生涯学習検定センターの HP でも詳しくご紹介しています。 <http://www.kentei-center.com/>

【会社概要】

社 名： 株式会社 旺文社
代 表 者： 代表取締役社長 赤尾 文夫
設 立： 1931 年 10 月 1 日
本 社： 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 TEL：03-3266-6400
事業内容： 教育・情報をメインとした総合出版と事業
U R L： <http://www.obunsha.co.jp/>

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社旺文社 広報担当：山縣・三澤 TEL:03-3266-6495

【WEB サイトに関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社 生涯学習検定センター TEL:03-3266-6764